

令和6年度

東北防衛施設地方審議会開催

令和6年10月21日(月)、海上自衛隊大湊地方總監部において、令和6年度東北防衛施設地方審議会が開催されました。

東北防衛施設地方審議会は東北防衛局長の諮問に応じて、防衛施設に係る不動産の権利の対価の額や漁船の操業制限等による損失の補償額などに関する事項等を調査審議し、必要と認める事項を建議する重要な責務を担っており、一力敦彦会長(東北放送代表取締役社長)をはじめ、様々な分野において、専門的な知識や経験を有する9名を委員として任命しています。



護衛艦「おおよど」を背景に写真を撮る審議会委員

今年度は、防衛政策の現状やその課題と取り組みなどについて理解を深めていただくことを目的として、令和6年版防衛白書説明のほか、当局が取り組んでいる具体的事例として「防衛施設周辺における風力発電施設建設に伴う防衛省の対応」について説明を行い、各委員からは、多くの意見や質問が出され、盛会のうちに終了しました。

また、大湊地方総監部の協力のもと、護衛艦「おおよど」の見学のほか部隊概要説明が行われました。



河野艦長による艦橋説明



しもきたポーズで写真撮影



大湊地方総監部の部隊概要説明



一力会長の挨拶



池松局長による説明



佐藤企画部長による説明